事業名:高齢者健康づくり事業



Q1 この仕事は、誰のために、何をするのですか?

高齢者が心身ともに充実した生活をおくり、健康寿命の延伸を図ることを目的に、老人クラブ連合会に事業委託をし、健康づくり等の講演会や学習活動、健康増進活動の成果発表の場の設定、スポーツ大会や教養講座等の開催を支援します。



?

Q2 この仕事に、私たちの税金がどのように使われていますか?

高齢者の健康づくり事業として、スポーツ大会や教養講座の開催を行 うため、老人クラブ連合会への委託料に税金が使われています。





Q3 この仕事が行われることによるメリットは?

高齢者が生きがいをもって生活することや、健康づくりに取り組むことで、元気な高齢者が増えます。高齢者本人の生活の質が保たれるほか、医療や介護の社会保障費が抑えられ、結果的に保険料などの本人負担も抑えられます。



Q4 この仕事はいつから始まり、また、見直しなどを行いましたか?



老人クラブ連合会への委託は、平成 17年の合併以前から行っています。事業のメニューはほぼ変更なく、事業費用については、毎年必要経費を積算しています。



事業シート(概要説明書)																		
	予	算事業名										事	業開始	台年度	平成17	平成17年度 (合併前については不明)		
_	上位	施策事業名	4-3-1 長寿社会対策の推進								担	担当局・部名			保健福祉部			
	根	拠法令等	老人福祉法								担	担当課·係名			高齢者福祉課・地域福祉係			
	事	事務区分	■自治事務 □法定受託事務								f	 作成責任者			西原			
	実	施の背景	市では、「高齢者が生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して生活している」ことをめざし、高齢になってもできる限り介護を必要としないよう 介護予防や健康寿命の延伸に取り組んでいる。三原市の介護認定率は、19.2%(県19.1%)、健康寿命は、男性78.79歳(県79.71歳)、女性 84.40歳(県84.12歳)で、男性の健康寿命は県平均を下回っている。今後、後期高齢者数は増加することが見込まれており、介護予防事業に積極的に取り組む必要がある。															
(•		目 的 ごうしたいのか)	高齢者が心身ともに充実した生活を送ることができるよう健康寿命の延伸を図る。市の目標として「介護認定率21%未満」とすることや「平均寿命の延伸分を上回る健康寿命の延伸」をめざしており、老人クラブ連合会に事業を委託し、スポーツ大会や教養講座などの開催を支援することで、健康づくりの取組を強化する。															
対象(誰・何を対象に)			老人クラブ会員 (60歳以上)								文	対象者数(全住民に対する割合 4,608 人 (5 %						
			□直接実施															
		+ +++	■業務委託 又は □指定管理 (委託先又は指定管理者:三原市老人クラブ連合会)															
	実施方法	美施万法	口補助	金〔	直接・	間接〕	(補助	先:			実施	主体	:)		
			□貸付	(貸	付先:) 🗆 -	その他	(,)		
					事業	内容(箇条書	き)				事	業費		活動指標			
事業	事業内容 ^(手段、手法など)			スポーツ大会 (ボール運び、スリッパ飛ばし等、高齢者が気 軽にできる運動を行う。参加者500人前後) 400							千 円	年1回						
概要		グラウンドゴルフ大会(チーム対抗戦、参加者250人前後)								150		千 円						
		若返り芸能大会(各老人クラブが歌, 演劇, 踊り等を披露。参加者600人前後)								490		年1回			1 回			
		教養講座の開催(フレイル予防,体操,文化祭等,講座の内 容は各地区で自由に計画)							1,			通年, 年1回以上 (うちカラオケ大会年1回)						
			認知症予防研修会(各老人クラブで認知症予防に関わることを計画し、実施報告することで一定金額を交付)							480			通年	通年,年1回以上				
	(╒	関連事業 同一目的事業等)	別紙参照															
			R3年度(予算) R2年度(決算) H31年度									E (決算	拿)	НЗ	0年度	[(決	算)	
		事業費合計			2, 160	千円			615	千円		2	2, 008	千円		2	2, 160	千円
コスト	事業費	事業費 内訳 (令和2年度分)	・スポーツ大会費(コロナ禍により中止)67,896円(交通費・印刷代・賞品等)・グランドゴルフ大会費140,561円(運営費・賞品代等)・芸能大会費(中止)42,894円(会場費・印刷代・交通費等)・教養講座開催費78,097円(各地区助成)・認知症予防研修費276,040円(各老人クラブ助成)															
	人	担当正職員	0.05			千円	0.05		300	千円	0. 05		300	千円	0. 05		300	千円
	件費一	臨時職員等	0.		0	千円	0.55	人	000	千円	0.55	人	000	千円	1	人		千円
	×	人件費合計	0. 05	人	300	千円	0. 05	人	300	千円	0. 05		300	千円	0. 05		300	千円
	総事業費		2,460 千円					915				千円				千円		
		国県支出金	国県国	支出:	2,160 金の内容	千円			0	千円 保険	 者機能	強化	0 :推進玄	千円 そ付金			0	千円
則	វ源	地方債				千円			0	千円				千円			0	
rt	重用	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	.	0 千円 0 千円 0 千円 0 千円						0	千円							
内訳			│ その他特財の内容 │ │										7 m					
		一般財源				チ円							千円					
		財源合計			Z, 40U	千円			910	十円			., ა∪ბ	千円		- 2	., 400	千円

事業シート(概要説明書)													
マ領市サク 古処土沙古ペノリ市サ													
	予算事業名				未用如牛皮 合	(合併前については不明)							
事業実績		【活動指標名】(実績値/目標値)	単位	R2年度	H31年度	H30年度							
		スポーツ大会参加者(年1回)	人	中止	500	409							
	活動実績	グラウンドゴルフ大会参加者(年1回)	人	162	250	250							
		芸能大会(年1回)	人	中止	600	550							
		教養講座(通年,延人数)	人	中止	671	873							
		認知症予防研修(通年,延人数)	人	1,277	1,902	1,995							
	単位当たりコスト	総事業費 参加延人数	円	635.9	588.3	603.4							
事業成果	成果目標 ^(指標設定理由等)	大会や行事で成果を披露すること、準備から参加への過程で能動的に活動することは生きがいや心身の健康に繋がると考えることから事業への参加者数を成果指標とする。参加者数の目標値はH28年度の参加者数とする。(過去5年間での最高値) 高齢者が健康を維持している一つの基準として介護認定率21%未満を成果指標とする。											
	成 果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	単位	R2年度	H31年度	H30年度							
		事業参加者数の維持(参加延人数/H28年度参加延人数)	人	1,439/5,523	3,923/5,523	4,077/5,523							
		介護認定率(年度末実績/高齢者福祉計画の目標値)	%	19.3/21.0	19.2/21.0	19.1/21.0							
				/	/	/							
	事業の自己評価 う後の事業の方向 性、課題等)	老人クラブという全市的に活動している団体に対し事業を行うことで、効率的に高齢者にアプローチできる。 事業を行うことによる効果が不明瞭→各事業評価が必要 老人クラブ数、及び会員数の減少に伴う事業参加者の減少→新規加入者獲得、脱退者の抑制 (考えられる理由) ・地域活動、価値観の多様化 ・就労する高齢者の増加 ・後継者不在等による市老連からのクラブ脱退 ・リーダー、役職等への苦手意識 高齢者の生きがい作りや健康寿命の延伸を図る事業は介護予防、高齢者の社会参画、医療費の抑制などの観点から重要であると考えるが、具体的な評価指標を定め事業の効果について検討する必要がある。											
比較参考値 (他自治体での類似 事業の例など)		尾道市 会員数:4,544人 介護予防委託事業:5,450千円(運動等による健康増進) 東広島市 会員数:4,109人 介護予防委託事業:なし 廿日市市 会員数:6,277人 介護予防委託事業:5,770千円(リーダー研修,健康・教養講座等) 府中市 会員数:3,826人 介護予防委託事業:なし 庄原市 会員数:6,120人 介護予防委託事業:919千円(地域見守り,声掛け合い,防災研修)											
	特記事項												

F AB 3													
委託・指定管理・補助 対象団体シート (概要説明書)													
予算事業名	三原市高	5齢者健康づくり事業				事業開始年	度	H17年	F度				
団体名													
団体への 支出根拠 (選定経過等、 支出先の妥当 性)	老人福祉法 第十三条 地方公共団体は、老人の心身の健康の保持に資するための教養講座、レクリエーションその他広く老人が自主 的かつ積極的に参加することができる事業(以下「老人健康保持事業」という。)を実施するように努めなければならない。 2 地方公共団体は、老人の福祉を増進することを目的とする事業の振興を図るとともに、老人クラブその他当該事業を行う 者に対して、適当な援助をするように努めなければならない。 老人クラブの活動に対する事業であるため、他業者では履行できない。												
		収入		支出									
	国からの	財政支出金	Ŧ	·円	スポーツ大会			68	千円				
	県からの	財政支出金	Ŧ	円	グラウンドゴルフ大会	<u></u>	1	141	千円				
火計車業の	市町村か	らの財政支出金	2160 千	円	若返り芸能大会			43	千円				
当該事業の 団体における 収支状況		委託料•指定管理料	2160 千	円	教養講座の開催			87	千円				
权又认近		補助金	Ŧ	円	認知症予防研修会		2	276	千円				
		その他	Ŧ	円					千円				
	その他	Ŧ	円					千円					
	総計	2160 千	·円	総計		6	315	千円					
					※委託料は設計ベースのた	≘め、収入と一致しな	い場合あり	١.					
	健康・友愛 る。	・奉仕を基本に、三原市内の老人クラブ	の普及・発展を	をは	かるとともに, 広く高齢者の	の福祉の増進に寄り	与すること	を目的	」とす				

1 市内各老人クラブに関する調査研究・育成指導・リーダー養成 2 高齢期を共に生きるための、健康・仲間づくりの推進 3 相互に支えあう友愛活動 4 地域社会に貢献する奉仕・ボランティア活動 5 全ての実践の基礎となる学習活動 6 諸団体との連携及び三原市からの委託事業 団体概要 7 各部の活動推進 8 その他目的達成に必要な事業 うち (出向/OB) 非常勤 ^{うち} (出向/OB) うち (出向/OB) 資本金 千円 (単位:人) 常勤 監事 役 市出資金 千円 職 役員 員 出資比率 % 職員 1 収入 支出 国からの財政支出金 千円 事業費 3428 千円 県からの財政支出金 50 千円 管理費 151 千円 市町村からの財政支出金 千円 6447 千円 人件費 681 団体全体の 委託料•指定管理料 負担金, 予備費 千円 6447 千円 その他 298 収支状況 補助金 千円 総計 4558 千円 その他 千円 千円 その他(会費, 雑入, 繰越金 1347 総計 7844 千円 収支差 3287 千円 負債総額: 円 資本総額: 円 利益剰余金(もしくは欠損金): 特記事項 財務諸表URL

※実績は令和2年度分,()は令和3年度予算

運動者及||-ゲ - に

する活動

知識普及

高部右向口運動機器の配板

三原・大和・本郷に設置している運動機器を 使った運動166回延2,059人(1,417千円)

介護予防健康体操教室

体操講師による運動各地区5か所187 回2,922人(1,755千円)

せ の た り 部 概 を 検

市民全体を対象に, 運動普及 リーダーがウォーキングやし ジオ体操の推進活動を実施 自宅でできる体操のDVDを作成

(保健福祉課事業)

地域活動支援

公護予陀教室

高齢者相談センターが小地域又は地域の団体へ の出前方式で開催59回延925人(3,233千円)

高部右包生活次善推進事業

食生活改善推進員が各地域で講習会を開催 50回頌531回(1,500千円)

本に派遣し健康相談を実施33回延665人(456千円) 認知症予防教室

保健師・栄養士・歯科衛生士・看護師等を地域の団

介護子的指数事業(

いきいき百歳体操体験 老人957,2回,延50人

よく噛んで,楽しい人生を

認知症の正しい知識の普及啓発の講座を開催

認的信報液依

昨年度は中止(185千円)

介護予防(運動・栄養等)の講座を開催 5回延74人(308千円)

保険のこれがある。

リハビリ専門講師を派遣

2回(147千円)

地域活動グループ

老人クラス

スポーツ大会

グラウンドゴルフ

芸能大会

市職員が講師となり自主運 老人クラブリーダー

中 営を支援 昨年度は中止

認知症予防研修 での自主運営又 は出前講座によ 単位老人クラブ

教養講座

主グルース **公额予防**自 こもこもられをこキロン (在宅要援護者仲間づくり育成事業)

市の立ち上げ支援によって運営されているグループ

こもこも田根存款

現在88団体支援延39回

(住民主体グループ)

現在13か所

社会福祉協議会にサロンの立ち上げと運

営を委託。現在202か所(9,155千円)

介護予防自主グループ活動支援事業

(1,649千円)

MEMO